

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立山之内小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	住吉区
学 校 名	大阪市立山之内小学校
学 校 長 名	下川路 深志

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立山之内小学校では、第6学年 60名

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立山之内小学校の結果概要

平均正答率は、大阪市や全国平均より低い結果になった。また平均無回答率は、大阪市や全国平均より高かった。基礎基本の学習を大切にし、問題に粘り強く取り組む児童を育てていかなければならない。教科別に結果を見ていくと、国語も算数もすべての領域で課題が見られた。学校全体として取り組んでいるが、子どもたちの学習意欲を引き出し、高められるような学習の導入、そして、基礎基本を大切にしたい授業展開、さらに繰り返し学習することの続け、力を定着させ、大阪市や全国平均に近づけるようにしていかなければならない。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

すべての領域において、大阪市や全国平均より平均正答率が低くなった。「書くこと」の領域においては、大阪市や全国平均より低いものの問題にしっかりと向き合った結果が表れ、ほかの領域より正答率の開きが小さくなったと考えられる。普段の授業から楽しみながらも粘り強く取り組む児童を育てられるよう努めていく。

【算数】

すべての領域において、大阪市や全国平均より平均正答率が低くなった。「変化と関係」の領域においては、大阪市や全国平均より低いものの問題に普段からの学習の成果が結果として表れ、ほかの領域より正答率の開きが小さくなったと考えられる。基礎基本を大切に、反復学習をすることでさらに学習を定着させていきたい。

質問調査より

学校質問調査では、本校の児童の学力向上に向けて、学校全体で取り組みを進めてきた。これからも児童の実態に応じて継続して指導を続けていく。児童質問調査では、「困りごとや不安があるときに、学校にいる大人にいつでも相談できますか」という質問に対し、全国平均並みの回答であった。教職員が児童を中心に据えた取り組みを進めてきた結果といえる。一方、「自分にはよいところがある」という質問に対しては、肯定的に回答する児童が大阪市や全国平均より低かった。さらに子どもたちを認め、ほめることで、自己肯定感や学校に対する気持ちを高めていきたい。

今後の取組（アクションプラン）

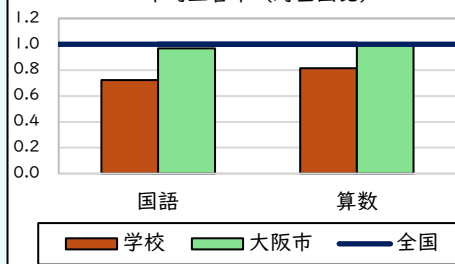
すべての学年で意欲を高め、基礎基本を大切に、繰り返し学習する授業展開を推進していく。繰り返し取り組むことで学習内容が定着し、力が高まり、粘り強く課題と向き合う児童が育つと考える。授業展開の取り組みとしては、学習意欲が高められるような導入を工夫したり、友だちと一緒に協働的に学習するスタイルを取り入れたりしていく。スモールステップを大切に、着実に学習内容を定着させたり、児童がつまづきを一つ一つ解決したりする授業を実践していく。さらに、以上のことをふまえた研修を取り入れ、教員の授業力を向上させていくことで児童の力を学校全体で高めていきたい。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

平均正答率（％）

	国語	算数
学校	44	46
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4

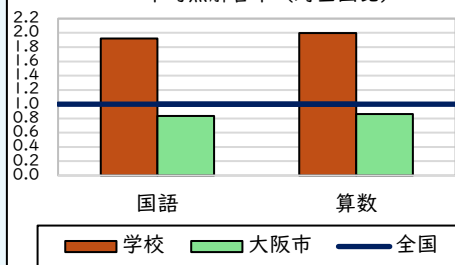
平均正答率（対全国比）



平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	6.6	6.4
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2

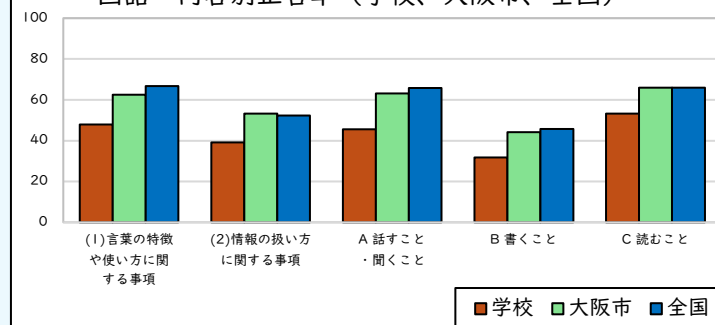
平均無解答率（対全国比）



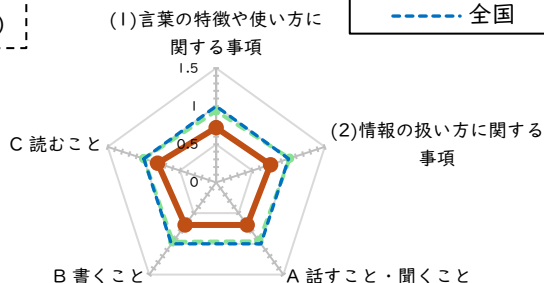
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方にに関する事項	4	47.9	62.5	66.8
(2)情報の扱い方にに関する事項	2	39.2	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	45.6	63.1	65.8
B 書くこと	2	31.7	44.2	45.7
C 読むこと	2	53.3	66.0	65.9

国語 内容別正答率（学校、大阪市、全国）



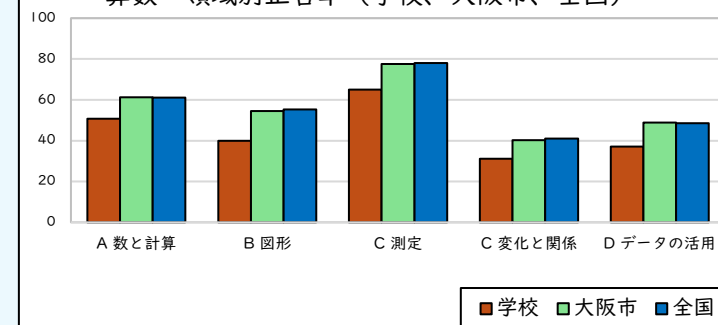
国語
内容別正答率
（対全国比）



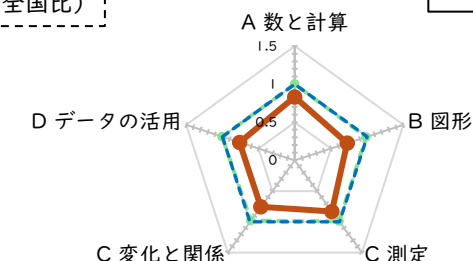
【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	50.8	61.2	61.1
B 図形	4	40.0	54.5	55.3
C 測定	1	65.0	77.5	78.1
C 変化と関係	3	31.1	40.3	41.1
D データの活用	4	37.1	48.8	48.6

算数 領域別正答率（学校、大阪市、全国）



算数
領域別正答率
（対全国比）



令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

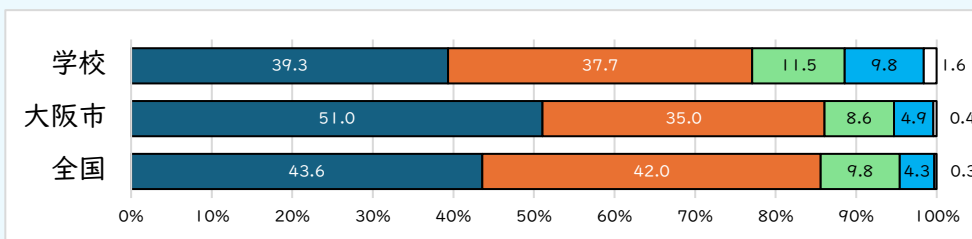
■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

質問事項

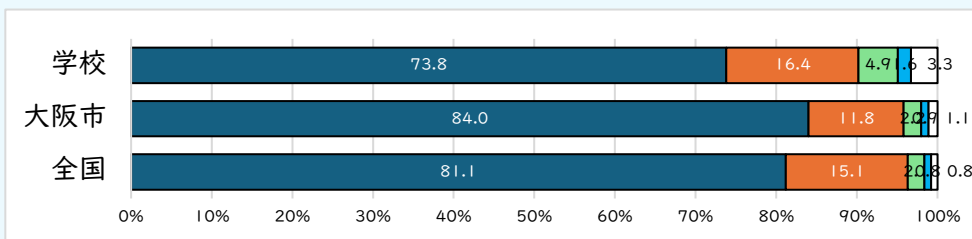
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8)	自分には、よいところがあると思いますか
-----	---------------------



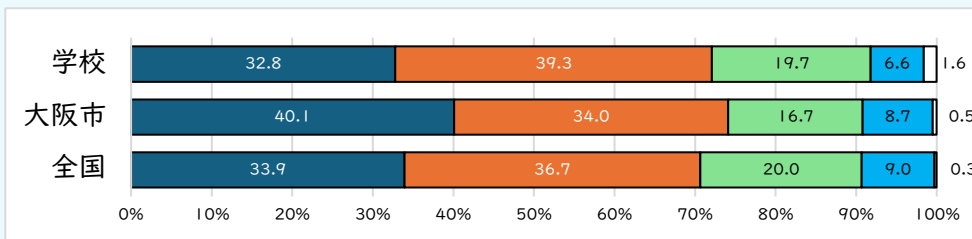
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(12)	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか
------	------------------------------



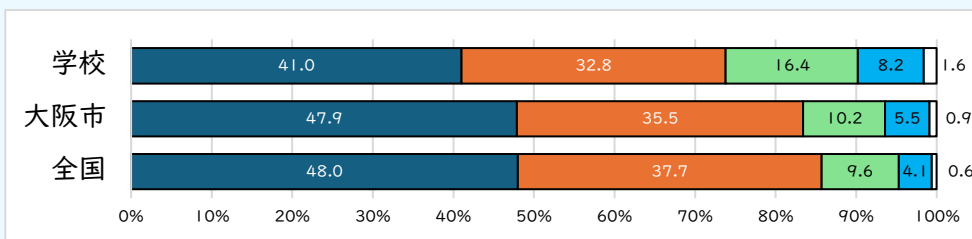
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(13)	困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
------	-------------------------------------



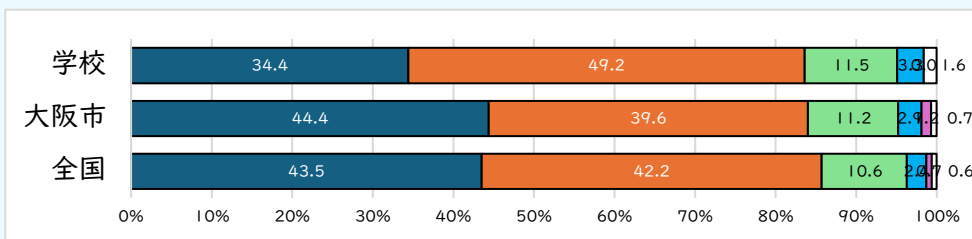
- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(15)	学校に行くのは楽しいと思いますか
------	------------------



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない

(42)	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか
------	---



- 1 当てはまる
- 2 どちらかといえば、当てはまる
- 3 どちらかといえば、当てはまらない
- 4 当てはまらない
- 5 学級の友達との間で話し合う活動を行っていない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

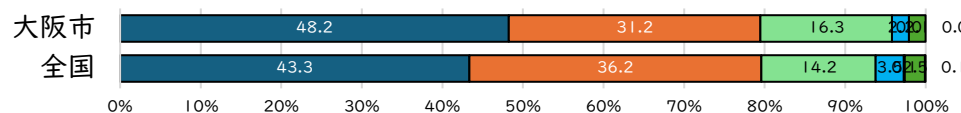
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(14)

前年度に、教員が授業で問題を抱えている場合、率先してそのことについて話し合うことを行いましたか

【学校の回答】 1 週に1回程度、または、それ以上行った

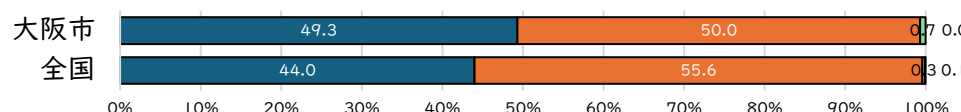


- 1 週に1回程度、または、それ以上行った
- 2 月に数回程度行った
- 3 学期に数回程度行った
- 4 年に数回程度行った
- 5 行わなかった
- 6 特に問題を抱えていなかった

(16)

ICTを活用した校務の効率化（事務の軽減）の優良事例を十分に取り入れていますか

【学校の回答】 1 十分に取り入れている

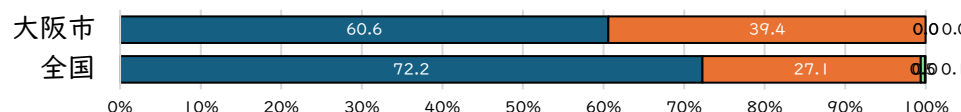


- 1 十分に取り入れている
- 2 一部取り入れている
- 3 全く取り入れていない

(21)

教職員が困っているとき、管理職と教職員との間で随時相談できるなど組織的に対応する体制を構築していますか

【学校の回答】 1 そう思う

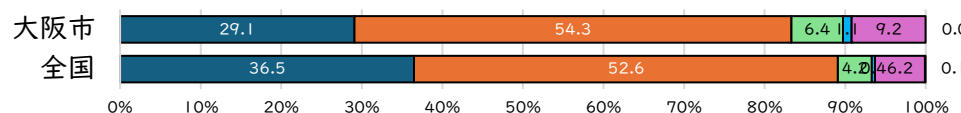


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない

(79)

コミュニティ・スクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解が深まりましたか

【学校の回答】 1 そう思う

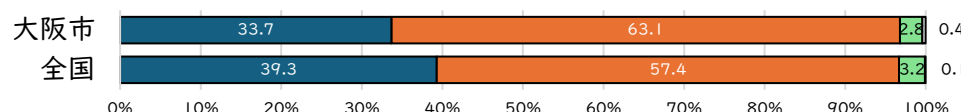


- 1 そう思う
- 2 どちらかといえば、そう思う
- 3 どちらかといえば、そう思わない
- 4 そう思わない
- 5 取組を行わなかった

(84)

令和7年度全国学力・学習状況調査の自校の結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

【学校の回答】 2 行った



- 1 よく行った
- 2 行った
- 3 ほとんど行わなかった